

環境保全:環境パフォーマンス・環境会計

環境パフォーマンス

UBEグループにおける環境負荷の全体像(2018~2022年度)

集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社。詳細はP16に掲載。

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度(注2)
総エネルギー投入量	原油換算量(千MWh)	21,970	22,140	20,920	21,340	7,841
総物質投入量(千t)		16,383	16,298	15,381	15,819	2,177
取水量	淡水(百万m ³)	92	97	94	96	68
	海水(百万m ³)	106	115	108	116	302(注1)

インプット

UBEグループの事業活動(製造) ↓

アウトプット

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
大気排出	GHG(万t-CO ₂ e)	1,201	1,211	1,127	1,184	382
	SOx*1(t)	2,873	2,652	2,589	2,296	1,095
	NOx*2(t)	16,149	16,071	15,274	14,956	3,275
	ばいじん(t)	356	371	392	364	115
	PRTR法*3対象物質(t)	198	180	190	194	143
土壌排出	PRTR法対象物質(t)	0	0	0	0	0
水域排出	排出水量(百万m ³)	147	163	152	159	345(注1)
	COD*4(t)	642	705	658	687	1,347
	全リン(t)	9	11	10	11	18
	全窒素(t)	468	466	420	455	466
廃棄物排出	外部埋立処分量(t)	6,730	6,463	6,267	5,895	5,159
	リサイクル量(t)	370,451	389,000	340,543	379,024	214,755

(注1) 2022年度は、自家発用冷却水(海水)を含む。

(注2) 2022年度は旧建設資材カンパニーを含まないデータです。

UBEグループでは、大気や水域への汚染・汚濁物質の排出管理を徹底し、協定値や自主管理基準の遵守に努めています。また、さらに環境負荷を削減していくため、削減計画の進捗状況を経営会議で確認して確実にPDCAサイクルを回し、環境経営に取り組んでいます。今後とも地球環境問題への対応、産業廃棄物の削減と有効利用、化学物質の排出抑制など、循環型社会の形成に貢献する事業活動を推進していきます。

環境会計

環境保全コスト

分類	主な内容	設備投資(億円)			費用(億円)		
		2021年度	2022年度	差異	2021年度	2022年度	差異
事業エリア内コスト	公害防止コスト	13.6	9.6	(4.0)	44.2	36.2	(8.0)
	地球環境保全コスト	6.1	2.7	(3.4)	33.4	1.5	(31.9)
	資源循環コスト	2.6	0.1	(2.5)	32.1	8.7	(23.4)
上・下流コスト	容器包装のリサイクル、グリーン購買費用	0.0	0.0	0.0	9.0	5.4	(3.6)
管理活動コスト	環境マネジメントシステムの取得・運用・維持費用	0.0	0.0	0.0	5.1	3.1	(2.0)
研究開発コスト	環境配慮製品・技術の研究開発費用	0.0	0.0	0.0	1.7	0.8	(0.9)
社会活動コスト	事業所・周辺地域の緑化・美化費用	0.2	0.2	0.0	3.9	0.8	(3.1)
環境損傷コスト	環境関連の賦課金支払費用	0.0	0.0	0.0	1.3	0.9	(0.4)
合計		22.5	12.6	(9.9)	130.7	57.4	(73.3)

経済効果

分類	主な内容	億円		
		2021年度	2022年度	差異
実収入効果	有価廃棄物の売却額	42.1	6.7	(35.4)
節約効果	資源の再利用、省エネルギーの実施による節約額	66.4	31.5	(34.9)

用語解説

*1 SOx: 燃料に含まれる硫黄に由来する硫酸酸化物。ボイラーが主な発生源。

*2 NOx: 燃料を空気で燃焼させる時に発生する窒素酸化物。ボイラーが主な発生源。

*3 PRTR法(Pollutant Release and Transfer Register): P2の用語解説を参照。

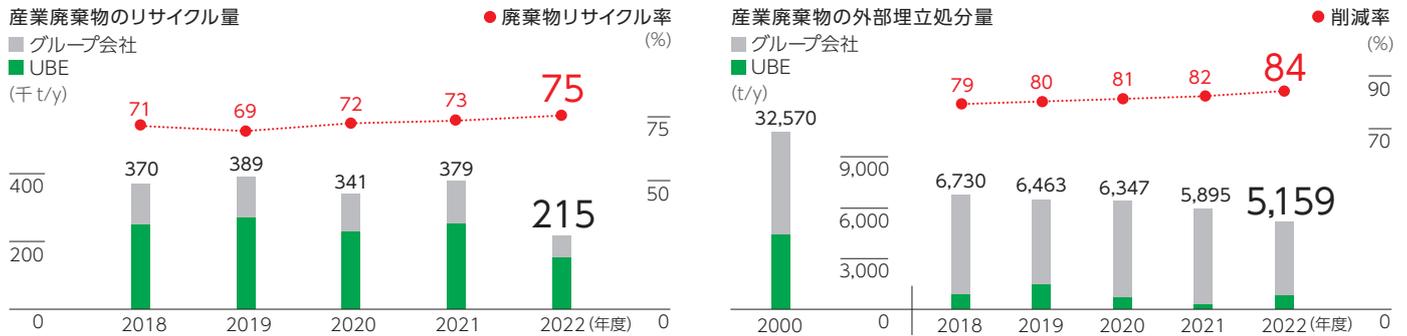
*4 COD: 有機物による水質汚濁の指標。有機物を化学的に酸化する時に消費される酸素量。

環境保全: 産業廃棄物・PCB廃棄物

産業廃棄物の削減

集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社。詳細はP16に掲載。

この集計範囲は、国内主要連結子会社の70%をカバーしています。



外部埋立処分量

2024年度目標:87%削減(2000年度比)

UBEグループでは、循環型社会の形成に向けた取り組みとして、産業廃棄物の発生抑制や再資源化を推進しています。UBEグループの中期目標として、外部埋立処分量の削減率を「2024年度に87%削減(2000年度比)」と設定して活動を進め、2022年度は2000年度比で84%削減しました。引き続き、産業廃棄物の削減に向けた取り組みを推進していきます。

産業廃棄物の処理フロー

年度	内部				外部			
	①発生量	②減量化量	③リサイクル量	④埋立処分量	⑤排出量	⑥減量化量	⑦リサイクル量	⑧埋立処分量
2018	517,033	120,719	242,835	207	155,272	20,685	127,616	4,971
2019	561,591	145,425	247,568	263	168,335	20,440	141,432	6,463
2020	476,127	105,940	220,559	126	149,502	23,171	119,984	6,347
2021	522,644	114,866	233,175	127	174,476	22,732	145,849	5,895
2022								
化学部門	234,247	46,743	9,180	706	177,618**	18,239	158,523	856
機械部門	51,534	0	31,476	0	20,058	179	15,576	4,303
計	285,780	46,743	40,656	706	197,676	18,418	174,099	5,159

※ ★印は第三者検証による保証を受けた数値です。詳細は保証書(P14掲載)をご参照下さい。

集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社。詳細はP16に掲載。



PCB(ポリ塩化ビフェニール)廃棄物の処理

PCB使用安定器など使用中機器の掘り起こし調査を徹底し、改正PCB特別措置法で定められた期限までにPCB廃棄物の処分が完了するよう回収を進めています。また、保管・処理にあたっては法規制を遵守し、中間貯蔵・環境安全事業株式会社や無害化処理認定業者を活用して計画的に処理を進めています。

PCB含有機器の保管台数(2023年4月現在 UBE)

(単位:台)	使用	保管	計
高濃度PCB	0	0	0
低濃度PCB	23	26	49

UBEは、2021年度に高濃度PCB廃棄物の処分を完了しています。低濃度PCB廃棄物につきましても、改正PCB特別措置法が定めた期限までに全数の処分が完了するよう計画的に回収・処分を進めています。

環境保全: 化学物質の排出抑制・PRTR法対象物質の排出量

化学物質の排出抑制

集計範囲: [UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社](#)。詳細はP16に掲載。
この集計範囲は、国内主要連結子会社の70%をカバーしています。



20化学物質の排出総量

2024年度目標:32%削減(2010年度比)

UBEグループでは、PRTR法^{※1}対象物質や揮発性有機化合物(VOC)^{※2}などの中から、排出量の多い20種類の重点化学物質^{※3}を全社の重点物質とし、排出抑制を進めています。UBEグループの中期目標として設定した「2024年度に32%削減(2010年度比)」に対し、2022年度は、20化学物質の排出総量を38%削減しました(PRTR法対象物質とVOCの排出抑制で評価すると、上記のとおり、2010年度比でそれぞれ56%削減と50%削減)。引き続き、化学物質の排出抑制を進めていきます。

2022年度のPRTR法対象物質の排出・移動の総量

	取扱量 (t)	総排出量 (t)				移動量 (t)	PRTR法対象物質数
		大気	公共用水	土壌	合計		
UBE	186,418	94.4	71.6	0.0	166.0	3,462	55物質
グループ会社	107,397	49.0	0.0	0.0	49.0	262	13物質
合計(UBEグループ)	293,816	143.4	71.6	0.0	215.0	3,724	68物質

2022年度のPRTR法対象個別物質の排出・移動(排出量1t/年以上の物質+ダイオキシン類)

政令指定番号	化学物質名	取扱量 (t)	排出量 (t)				移動量 (t)
			大気	公共用水	土壌	合計	
300	トルエン	835	55.4	13.9	0.0	69.3	203.3
76	イプシロン-カプロラクタム	97,916	0.0	49.9	0.0	49.9	251.3
104	クロロジフルオロメタン	20	20.3	0.0	0.0	20.3	0.0
400	ベンゼン	66	12.9	0.1	0.0	13.0	0.0
128	クロロメタン	12	12.3	0.0	0.0	12.3	0.0
80	キシレン	128	10.4	0.0	0.0	10.4	11.4
53	エチルベンゼン	23	9.4	0.0	0.0	9.4	10.7
213	N、N-ジメチルアセトアミド	605	8.2	0.0	0.0	8.2	267.6
240	スチレン	186	4.9	0.0	0.0	4.9	0.6
405	ほう素化合物	27	0.1	4.3	0.0	4.4	6.2
374	ふっ化水素およびその水溶性塩	5	0.0	2.6	0.0	2.6	0.4
349	フェノール	76,213	1.9	0.1	0.0	2.0	1,342.1
13	アセトニトリル	525	1.8	0.0	0.0	1.8	426.1
296	1、2、4-トリメチルベンゼン	123	1.6	0.0	0.0	1.6	3.1
351	1、3-ブタジエン	105,045	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0
243	ダイオキシン類(注)	—	83.3*	2.5*	0.0*	85.8*	0.0*

(注)異種の混合物

* ダイオキシン類のみ単位は、mg-TEQ

集計範囲: [UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社](#)。
詳細はP16に掲載。

この集計範囲は、国内主要連結子会社の70%をカバーしています。

用語解説

※1 PRTR法: P2の用語解説を参照。

※2 VOC: P2の用語解説を参照。

※3 20種類の重点化学物質: P2の用語解説を参照。

環境保全:環境負荷工場別データ

2022年度の工場別環境負荷データ

			大気への排出量 (t)			水域への排出量 (t)		
			SOx ^{*1}	NOx ^{*2}	ばいじん	COD ^{*3}	全リン	全窒素
国内								
化学部門	UBE	堺工場/大阪研究開発センター	0.0	1.4	0.0	0.7	0.0	0.7
		宇部ケミカル工場(東西地区)	17	59	2.1	398	5.5	352
		宇部ケミカル工場(藤曲地区)	530	333	2.5	203	5.0	50
		電力管理部(自家発 発電所)	532	2,755	100	713	6.4	48
		宇部電子工業部材工場(旧明和化成)	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		宇部研究所/医薬研究所	—	—	—	0.2	0.0	0.2
		みらい技術研究所(旧千葉研究所) ^(注)	—	—	—	0.0	0.0	0.0
		小計	1,079	3,149	105	1,315	17	451
	株式会社エーピーアイコーポレーション	2.6	5.9	0.1	12.6	0.3	10.2	
	UBEエラストマー株式会社	0.6	31.7	0.2	11.5	0.1	3.3	
	宇部フィルム株式会社	—	—	—	—	—	—	
	UBE過酸化水素株式会社 ^(注)	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	
	宇部エクシモ株式会社	0.0	0.6	0.1	3.7	0.0	0.0	
	計(化学部門)	1,082	3,187	105	1,343	17	465	
機械部門	UBEマシナリー株式会社	0.1	—	—	1.1	0.2	1.4	
	株式会社宇部スチール	13	88	9.4	2.6	—	—	
	株式会社福島製作所	—	—	—	—	—	—	
	計(機械部門)	13	88	9.4	3.7	0.2	1.4	
合計(UBEグループ)			1,095	3,275	115	1,347	18	466
海外								
スペイン	UBE Corporation Europe, S.A. Unipersonal		8	442	5.5	130	1.0	58
タイ	UBE Chemical (Asia) Public Company Limited		3.5	20	4.7	29	0.7	1.9
	THAI SYNTHETIC RUBBERS COMPANY LIMITED		0.0	0.0	1.1	18	0.0	0.0
	UBE Fine Chemicals (Asia) Co., Ltd.		0.0	4.8	0.2	—	—	—
合計			11	468	11	177	2	60

(注) 2023年度に組織改訂もしくは名称変更のあった事業所です。詳細はP16に掲載している【組織改訂・名称変更】を参照。

「国内」の集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社(詳細はP16参照)。この集計範囲は、国内主要連結子会社の70%をカバーしています。

用語解説

*1 SOx: P10の用語解説を参照。

*2 NOx: P10の用語解説を参照。

*3 COD: P10の用語解説を参照。